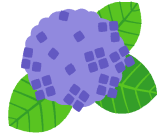


平成29年 6月20日

# 別府小便利

枕崎市立別府小学校 TEL 76-3452

校訓  
大きな夢を  
(その実現に向けて)  
明るく  
正しく  
たくましく



## 子どもを育てる！

学校長 小園 俊介

子育ての仕方に昔も今もありません。どうしたらうまく育てられるのかは、私たち親にとって永遠の課題と言えるのではないかと思います。

「家庭は教育の原点であり、全ての教育の出発点である。」これは、平成25年10月に制定された鹿児島県家庭教育支援条例の前文に述べられている文言です。そして、保護者の役割として「子どもに愛情をもって接すること」「生活のために必要な習慣を身に付けさせる」「自立心を育成すること」「心身の調和のとれた発達を図るよう努めること」「自らも親として成長していくよう努めること」とあります。

私は、大人の方々へ話をする時によくする話があります。それは、大人として、職業人として、家庭人として、「モラルを高める」、「ルールを守る」、子どもたちに対しては「よきモデルでありたい」の「3つの『ル』を大切にしましょう」ということです。

以下、子育てに関する8つのことを鹿児島県教育委員会が示していますので紹介します。

- その1 子どもとの会話を大切にしよう！  
(話せばわかるとは限らないが、話さなければもっとわからない)
- その2 我が家の約束事やルールを作ろう！  
(ルールってだれのためにあるんだろう)
- その3 間違っただけはしっかり叱ろう！  
(厳しく叱られたけど今ではそれに感謝しています)
- その4 子どもに我慢を覚えさせよう！  
(子どもの要求をすべて受け入れることが親のやさしさとは限らない)
- その5 子どもに命の大切さを実感させよう！  
(みんなそれぞれが世界でたった一つの命です)
- その6 子どもに夢や希望を語らせ、励まそう！  
(夢は人を育てる 夢をもつと人は強くなる)



その7 社会性を身に付けさせよう！  
(だれも一人だけでは生きられない)

その8 よりよい社会をつくらうとする姿を見せよう！  
(親の生き方が子どもへの最高の教育になる)

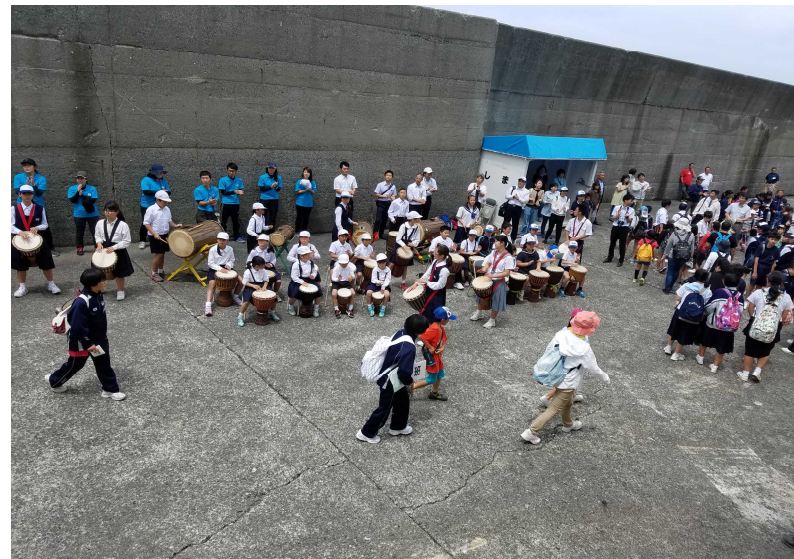
どれも分かっているけどなかなかできない項目ばかりですが、無理をせず、やれることから実践してみようでしょうか。子どもが家庭で身に付けたことは、将来、大人になっても、職業人になっても、家庭人になっても生き続けるのではないのでしょうか。

## 5月後半の子ども達の様子！

### 「枕崎少年の船その1」(5/21:日)

本年度、本校からは、2年生1名、4年生1名、5年生2名、育成者2名、教頭1名、計7名が参加しました。ほぼ全員が初めての体験でドキドキしながら乗船しました。

「他の学校の子どもたちとなかよくなれるかな?」「黒島の子どもたちとなかよくなれるかな?」「船酔いしないかな?」等、たくさん心配していたようですが、黒島ではとても楽しい貴重な体験をしました。その様子を写真数枚で紹介いたします。



※ 船に揺られて約2時間ちょっと、片泊港に着くと黒島の小・中学生がアフリカの民族楽器であるジャンベという太鼓の演奏で出迎えてくれました。「ウワーッ！上手だ！！」とは、本校の子どもたちの声です！  
(裏面に続きます。)

## 6月後半～7月前半の行事予定

- 6月22日(木) 読み聞かせ (おひさま)  
地区PTA役員研修会 (2名出席)
- 23日(金) 仲よし読書 着衣水泳 (中学年)  
プール掃除 (5校時: 5・6年)
- 25日(日) 別府中日曜参観: 岡本アナウンサー講演会
- 27日(火) 5年集団宿泊学習1日目 水泳記録会練習
- 28日(水) 5年集団宿泊学習2日目 水泳記録会練習
- 29日(木) 5年集団宿泊学習3日目 水泳記録会練習  
第3回小・中連携部会  
地区道徳教育研修会 (5名参加予定)
- 30日(金) スキルタイム 水泳記録会練習  
5年集団宿泊学習休養措置日  
第2回PTA代議員会
- 7月2日(日) ふるさと美化活動
- 3日(月) 安全点検
- 4日(火) 学校訪問 委員会活動
- 5日(水) 子ども貯金日1日目 水泳記録会練習  
スクールゾーン委員会
- 6日(木) 子ども貯金日2日目 水泳学習参観  
学校保健委員会 (心肺蘇生法: AED)  
学級PTA
- 7日(金) ALT来校日 水泳記録会練習
- 8日(土) 土曜授業日 学年部朝会  
水泳記録会練習 (3校時: 5・6年)
- 9日(日) 別府地区少年野球大会
- 10日(月) 清掃・給食強調週間 (~20日)  
水泳記録会練習
- 11日(火) 児童集会 クラブ活動 水泳記録会練習
- 12日(水) 全学年5時間授業 水泳記録会練習  
中学校弁論大会
- 13日(木) 読み聞かせ (おひさま) 水泳記録会練習  
上野先生来校日
- 14日(金) 仲よし読書 水泳記録会練習  
市民あいさつ運動  
子ども安全の日パトロール
- 15日(土) 青少年育成の日
- 16日(日) 家庭の日
- 17日(月) 海の日



# 5月後半の子ども達の様子Ⅱ

## 「枕崎少年の船その2」(5/21:日)



上陸後、コミュニティセンターで黒島の小・中学生とふれあい活動を行いました。

最初に桜山中学校の吹奏楽部の演奏がありました。その後、仲間作りゲーム等様々なゲームを楽しみましたが、じゃんけんチャンピオン大会では、本校の5年生：近森たおさんが、見事チャンピオンに輝きました。(左の写真は、たおさんがインタビューを受けているところです。) 2時間ほど交流を行い、交流会が終了しました。参加した子どもたちにとって大変良い思い出となりました。

## 修学旅行(5/24:水～5/25:木)

5月24日(水)・25日(木) 6年生の修学旅行を実施しました。目的地は熊本方面です。

1日目は塚原古墳群や熊本城を見学しました。

塚原古墳群は、熊本地震の影響で一般開放はされていませんが、特別に敷地を散策させていただきました。その土地の広さや古墳の多さに子どもたちはとてもびっくりしていたようです。

熊本城では、熊本地震の傷跡が今も数多く残っており、熊本地震がいかに甚大な被害をもたらしたかということ子ども一人一人が感じ取っていたように思います。熊本の一日も早い復興を願う子どもたちでした。



【修復中の熊本城天守閣をバックに】

2日目は、子どもたちが楽しみにしていたグリーンランドです。

開園とほぼ同時に入場し、担任の先生から諸注意を受けた後、それぞれの活動グループに分かれて一斉に駆け出しました。

アトラクションへ向かうグループ・買い物ブースへ向かうグループ・食べ物屋さんへ向かうグループとそれぞれでした。約4時間弱、グリーンランドで思い切り楽しむことができました。

帰校後、担任の先生から「公共の場での行動」「修学旅行へいけることへの感謝の気持ち」等について話があり、解散しました。

その夜は、きっとお土産話で盛り上がったことでしょう。



【大観覧車をバックに記念撮影】

## 道徳教科書展示会

来年度から「道徳」が教科書として実施されます。その教科書を下記の教科書センターで閲覧することができます。お時間がとれましたら、ぜひ御覧にいかれてください。

南薩地区指宿教科書センター(丹波小学校内) 連絡先: 0993-22-3011  
南薩地区川辺教科書センター(加世田小学校内) 連絡先: 0993-52-2039

# 6月前半の子ども達の様子

## 黒潮すもう大会(6/10:土)

恒例の黒潮すもう大会がこの日開催され、別府小の子どもたちが大変すばらしい活躍をしましたので紹介します。

【団体の部】	準優勝	優勝: 近森 絃	
【個人戦の部】	3年男子の部	準優勝: 江口 真央	第3位: 茅野 莉愛
	女子の部	優勝: 依積田くるみ	準優勝: 中村 心美
	4年男子の部	第3位: 下山 瑛太	
	女子の部	優勝: 鮫島 翔	
	5年男子の部	準優勝: 駒水 春香	
	女子の部	第3位: 駒水 春香	
	6年男子の部	優勝: 森田 心緑	
	女子の部	第3位: 白澤 卯麗	



## ハンセン病を正しく理解する週間

(6/18:日～6/24:土)

ハンセン病とは、「らい菌」という細菌による感染症で、皮膚や末梢神経がおかされる病ですが、人から人への感染はほとんどありません。しかし、研究が進んでいない時代には人から人へ感染するとされ、ハンセン病の方々を隔離する差別政策がとられていました。1907年(明治40年)に制定された「らい予防法」により、ハンセン病の方々は一般の方々から「近寄るな。」とか「あっちに行け。」などという差別を受けていたのです。

ところが、研究が進むにつれ、ハンセン病は極めて感染力が弱く、ほとんど感染しないことが明らかになるとともに、特効薬「プロミン」が開発されたこともあり、1996年(平成8年)に「らい予防法」が撤廃されました。徐々に差別はなくなる方向へ進んではいますが、いまだ偏見をもっている人がいるのも事実です。

現在、県内においては「星塚敬愛園」と「奄美和光園」の2つの療養所があります。この2つの施設では年に数回一般の方との交流会を実施しており、入所者の方々のお話を聞いたり、啓発のための展示物を見ることができます。(人権教育研修資料 なくそう差別・明るい社会より)

※ ハンセン病問題の解決を目指して国や県から以下のような資料がホームページ上で提供されています。ぜひ、御覧になってください。

- 国・・・「ハンセン病を正しく伝えるために：厚生労働省」
- 県・・・「ハンセン病問題を正しく理解するために」